



木の香る都市づくり事業

ひがししらかべ

東白壁クリニック

名古屋市東区白壁三丁目22-22

構造／木造3階建て

延床面積／712.92㎡

竣工／2025年8月

木材使用量／235.44㎡
(うち、あいち認証材217.54㎡)

樹種／スギ、ヒノキ

施主／医療法人名甲会

設計／一級建築士事務所FHN設計

施工／フロンヴィルホームズ名古屋株式会社
2024年度木の香る都市づくり事業活用施設



文化と調和し、やさしさを届ける—木造医療施設の新しいかたち

内科・整形外科の複合施設としてリニューアルオープンした、木造3階建てのクリニック。ツーバイフォーとCLTを組み合わせた構造により、100㎡を超えるリハビリ室や広々とした待合室を、柱のない大空間で実現した。CLTは燃えしろ設計により、準耐火性能を確保。

木材の自然なクッション性は、特に2階・3階の整形外科に来院する患者の足腰への負担を軽減するとともに、内科を含むすべての患者にやさしさと安心感をもたらす。

各フロア待合室の天井にはCLTをあらわしで使用し、木の香りと温もりを視覚的にも感じられる設計となっている。また、断熱性と気密性を活かした構造は空調コストの削減にも寄与し、機能面でも優れた建築となっている。

完成後も木構造が見える意匠により、誰もが一目で「木の建築」と実感できる外観を実現。オオカンザクラの並木道に面する本クリニックは、景観に自然と溶け込み、機能と美しさを兼ね備えた、新しい木造医療施設のかたちとなっている。

